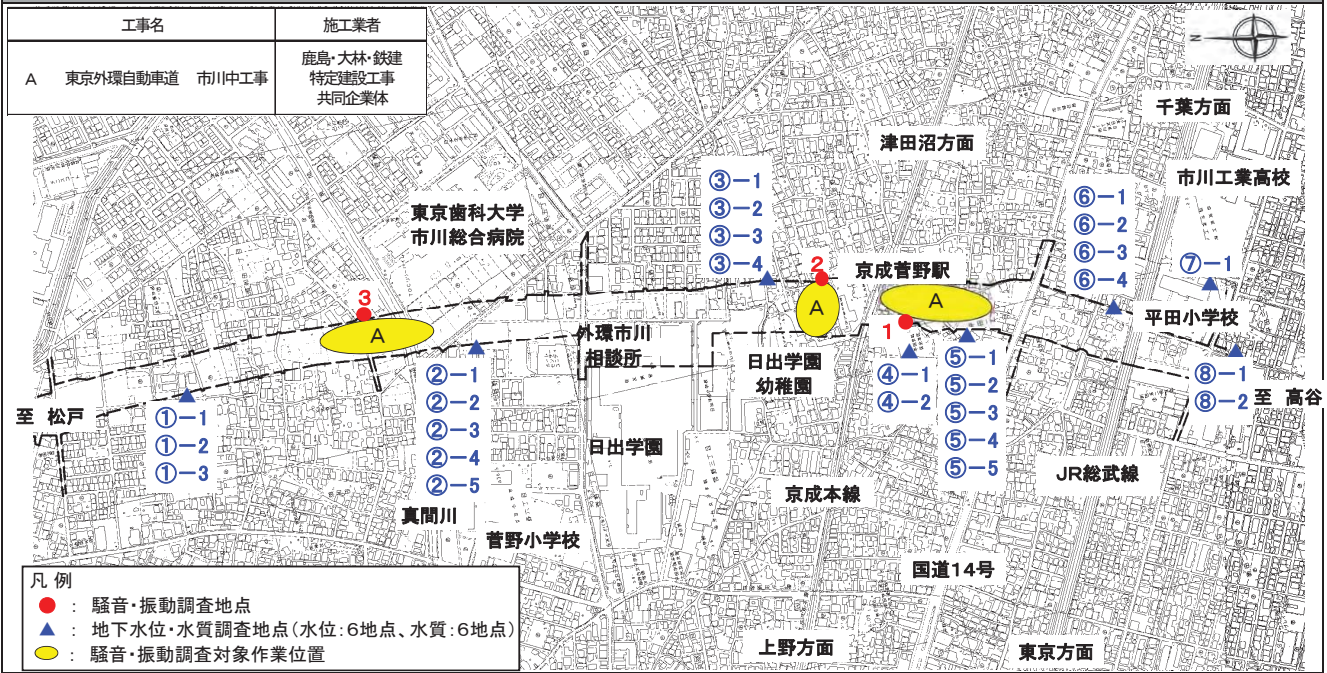


須和田・白幡・菅野・平田・新田地区の9月の調査結果のお知らせ

平素は、東日本高速道路の外環事業にご理解・ご協力いただき誠にありがとうございます。
 東日本高速道路千葉工事事務所では地域の生活環境の保全に努めつつ外環事業に取り組むために、騒音・振動等
 についての調査を毎月実施しております。
 そのうち、9月に実施しました調査結果についてお知らせ致します。

■連絡先：東日本高速道路株式会社
 千葉工事事務所 技術課
 TEL:043-350-3342

1. 調査項目および調査地点



2. 騒音・振動調査結果

騒音レベル L_{A5} および振動レベル L_{10} を下の表に示します。
 ○法律による規制基準を満足しています。

調査地点	付近の工事内容	騒音レベル L_{A5} (dB)	振動レベル L_{10} (dB)	調査日
1	市川中工事	65	33	9月8日 昼間(8時~18時)
		69	49	9月13日 昼間(7時~17時)
3		62	42	9月25日 昼間(8時~17時)
法律による規制基準		特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準	特定建設作業に伴って発生する振動の規制に関する基準	
		85	75	

解説
 ●騒音レベル L_{A5}
 騒音の大きさを騒音レベルといい、dB(デシベル)という単位で表します。騒音レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から5%目の値を L_{A5} と表します。これは、「特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準」に示された規制基準と比較する値です。
 ●振動レベル L_{10}
 騒音と同様に、振動レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から10%目の値を L_{10} と表します。これは、「振動規制法施行規則」に示された規制基準と比較する値です。

3. 地下水水質調査結果(採水日:9月4日、5日)

地下水水質調査結果を下の表に示します。
 毎月調査している項目として、pHおよび六価クロムがあります。
 ○pHおよび六価クロムに異常はありません。

調査地点	①			②			
	①-1	①-2	①-3	②-1	②-2	②-3	②-4
pH	7.4	7.8	8.0	7.0	7.4	7.7	8.1
六価クロム(mg/l)	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満
調査地点	③			⑤			
	③-1	③-2	③-3	⑤-1	⑤-2	⑤-3	⑤-4
pH	8.3	8.0	7.6	7.7	7.8	8.2	8.0
六価クロム(mg/l)	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満
調査地点	⑥			⑧			
	⑥-1	⑥-2	⑥-3	⑧-1	⑧-2	⑧-3	⑧-4
pH	8.0	8.0	8.1	6.9	6.8	7.4	
六価クロム(mg/l)	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満

解説
 ●pH(水素イオン濃度)
 地盤改良等に使用するセメント系固着剤は強アルカリ性を示すため、地下水中にセメントが混入した場合、pHがアルカリ性に傾くおそれがあることから測定を行っております。pHについては地下水における環境基準は定められていません。なお、pH=7程度が中性であることを表しております。
 ●六価クロム
 地盤改良等に使用するセメント系固着剤は、条件によっては地下水に六価クロムとして溶出するおそれがあることから測定を行っております。六価クロムの地下水における環境基準は0.05mg/リットル以下とされています。また、「0.005未満」とは、六価クロムを定量できる最も小さい値を下回っていることをいいます。

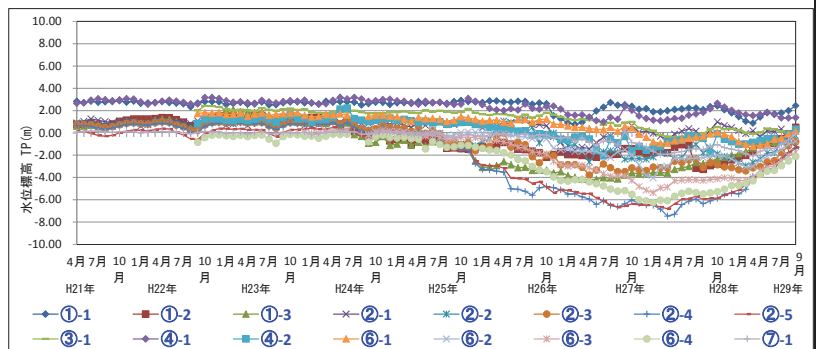
4. 地下水位調査結果

地下水位の調査結果を下の表に示します。
 ○地下水位の低下が一部で確認されました。
 引き続き注視していきます。

単位: T.P.m

調査地点	①			②				③	④			
	①-1	①-2	①-3	②-1	②-2	②-3	②-4	②-5	③-1	④-1	④-2	
H29	7月	1.78	-0.54	-0.59	0.34	-0.86	-1.74	-2.40	-2.25	0.14	1.34	-0.73
	8月	1.99	-0.07	-0.24	-0.82	-0.59	-1.17	-1.80	-1.72	0.04	1.34	-0.10
	9月	2.45	0.50	0.37	-1.20	-0.27	-0.78	-1.41	-1.29	0.33	1.36	0.33
調査地点	⑥			⑦								
	⑥-1	⑥-2	⑥-3	⑦-1	⑦-2	⑦-3	⑦-4					
H29	7月	-0.49	-1.51	-2.51	-2.95	-1.01						
	8月	-0.10	-1.02	-2.08	-2.51	-0.64						
	9月	0.15	-0.76	-1.76	-2.13	-0.12						

解説
 ●T.P.m
 東京湾の海面の平均高さを0として、標高を表す時に用いる単位です。

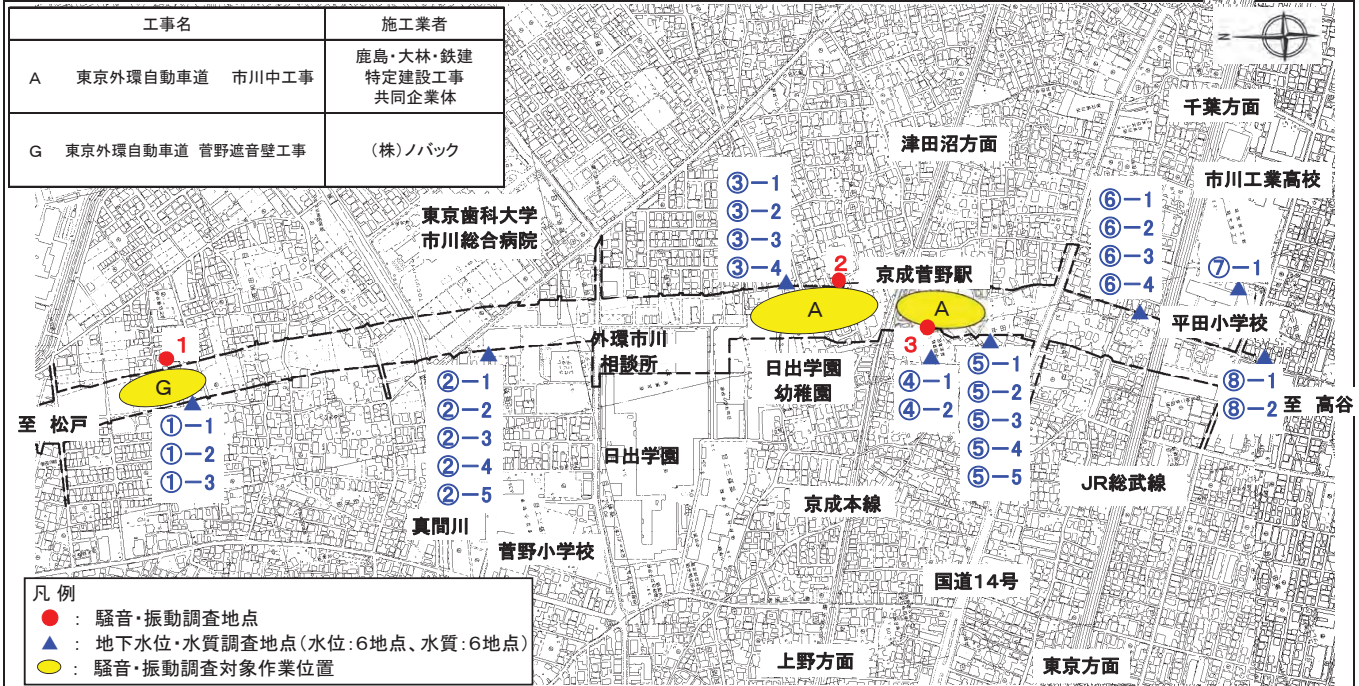


須和田・白幡・菅野・平田・新田地区の10月の調査結果のお知らせ

平素は、東日本高速道路路側の外環事業にご理解・ご協力いただき誠にありがとうございます。
 東日本高速道路路側千葉工事事務所では地域の生活環境の保全に努めつつ外環事業に取り組むために、騒音・振動等
 についての調査を毎月実施しております。
 そのうち、10月に実施しました調査結果についてお知らせ致します。

■連絡先：東日本高速道路路側
 千葉工事事務所 技術課
 TEL:043-350-3342

1. 調査項目および調査地点



2. 騒音・振動調査結果

騒音レベル L_{A5} および振動レベル L_{10} を下の表に示します。
 ○法律による規制基準を満足しています。

調査地点	付近の工事内容	騒音レベル L_{A5} (dB)	振動レベル L_{10} (dB)	調査日
1	菅野遮音壁工事	55	36	10月13日 昼間(8時~17時)
2	市川中工事	57	36	11月2日 ※ 昼間(8時~17時)
3		60	41	10月27日 昼間(8時~17時)
法律による規制基準		特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準 85	特定建設作業に伴って発生する振動の規制に関する基準 75	

※工事工程の変更により、10月の調査として実施

解説

- 騒音レベル L_{A5}
 騒音の大きさを騒音レベルといい、dB(デシベル)という単位で表します。騒音レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から5%目の値を L_{A5} と表します。これは、「特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準」に示された規制基準と比較する値です。
- 振動レベル L_{10}
 騒音と同様に、振動レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から10%目の値を L_{10} と表します。これは、「振動規制法施行規則」に示された規制基準と比較する値です。

3. 地下水質調査結果(採水日:10月11日、12日)

地下水質調査結果を下の表に示します。
 毎月調査している項目として、pHおよび六価クロムがあります。
 ○pHおよび六価クロムに異常はありません。

調査地点	①				②			
	①-1	①-2	①-3	②-1	②-2	②-3	②-4	
pH	7.4	7.8	7.9	6.8	7.6	7.9	8.0	
六価クロム(mg/l)	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	
調査地点	③				⑤			
	②-5	③-1	③-2	③-3	③-4	⑤-1	⑤-2	
pH	8.1	8.1	7.8	7.9	7.9	8.0	7.6	
六価クロム(mg/l)	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	
調査地点	⑥				⑧			
	⑤-3	⑤-4	⑤-5	⑥-1	⑧-1	⑧-2		
pH	7.7	7.9	8.0	6.0	6.6	7.3		
六価クロム(mg/l)	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満		

解説

- pH(水素イオン濃度)
 地盤改良等に使用するセメント系固着剤は強アルカリ性を示すため、地下水中にセメントが混入した場合、pHがアルカリ性に傾くおそれがあることから測定を行っております。pHについては地下水における環境基準は定められていません。なお、pH=7程度が中性であることを表しております。
- 六価クロム
 地盤改良等に使用するセメント系固着剤は、条件によっては地下水に六価クロムとして溶出するおそれがあることから測定を行っております。六価クロムの地下水における環境基準は0.05mg/リットル以下とされています。また、「0.005未満」とは、六価クロムを定量できる最も小さい値を下回っていることをいいます。

4. 地下水位調査結果

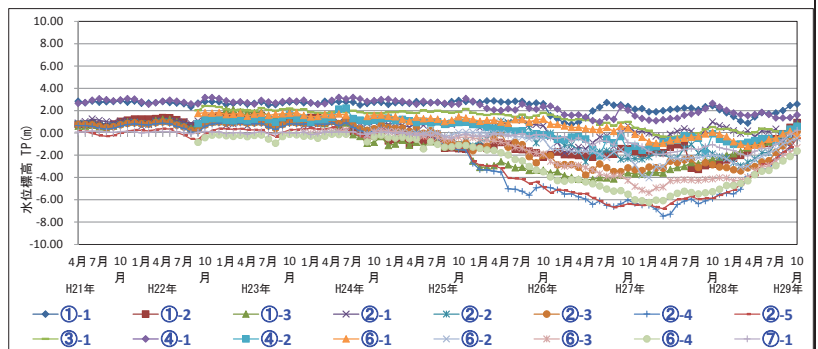
地下水位の調査結果を下の表に示します。
 ○地下水位の低下が一部で確認されました。
 引き続き注視していきます。

単位: T.P.m

調査地点	①				②				③		④	
	①-1	①-2	①-3	②-1	②-2	②-3	②-4	②-5	③-1	④-1	④-2	
H29	8月	1.99	-0.07	-0.24	-0.82	-0.59	-1.17	-1.80	-1.72	0.04	1.34	-0.10
	9月	2.45	0.50	0.37	-1.20	-0.27	-0.78	-1.41	-1.29	0.33	1.36	0.33
	10月	2.59	0.91	0.82	1.32	0.39	0.11	-0.25	-0.48	0.70	1.61	0.60
調査地点	⑥				⑦							
	⑥-1	⑥-2	⑥-3	⑥-4	⑦-1							
H29	8月	-0.10	-1.02	-2.08	-2.51	-0.64						
	9月	0.15	-0.76	-1.76	-2.13	-0.12						
	10月	-0.16	-0.48	-1.32	-1.62	0.23						

解説

- T.P.m
 東京湾の海面の平均高さを0として、標高を表す時に用いる単位です。



須和田・白幡・菅野・平田・新田地区の11月の調査結果のお知らせ

平素は、東日本高速道路路側の外環事業にご理解・ご協力いただき誠にありがとうございます。
 東日本高速道路路側千葉工事事務所では地域の生活環境の保全に努めつつ外環事業に取り組むために、騒音・振動等
 についての調査を毎月実施しております。
 そのうち、11月に実施しました調査結果についてお知らせ致します。

■連絡先：東日本高速道路路側
 千葉工事事務所 技術課
 TEL:043-350-3342

1. 調査項目および調査地点

工事名	施工業者
A 東京外環自動車道 市川中工事	鹿島・大林・鉄建 特定建設工事 共同企業体
G 東京外環自動車道 菅野遮音壁工事	(株)ノバック

凡例
 ● : 騒音・振動調査地点
 ▲ : 地下水位・水質調査地点(水位:6地点、水質:6地点)
 ○ : 騒音・振動調査対象作業位置

2. 騒音・振動調査結果

騒音レベル L_{A5} および振動レベル L_{10} を下の表に示します。
 ○法律による規制基準を満足しています。

調査地点	付近の工事内容	騒音レベル L_{A5} (dB)	振動レベル L_{10} (dB)	調査日
1	市川中工事 菅野遮音壁工事	63	45	11月8日 昼間(8時~17時)
2		62	46	11月29日 昼間(8時~17時)
3		66	40	11月27日 昼間(8時~17時)
法律による規制基準		特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準	特定建設作業に伴って発生する振動の規制に関する基準	
		85	75	

解説
 ●騒音レベル L_{A5}
 騒音の大きさを騒音レベルといい、dB(デシベル)という単位で表します。騒音レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から5%目の値を L_{A5} と表します。これは、「特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準」に示された規制基準と比較する値です。
 ●振動レベル L_{10}
 騒音と同様に、振動レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から10%目の値を L_{10} と表します。これは、「振動規制法施行規則」に示された規制基準と比較する値です。

3. 地下水水質調査結果(採水日:11月7日)

地下水水質調査結果を下の表に示します。
 毎月調査している項目として、pHおよび六価クロムがあります。
 ○pHおよび六価クロムに異常はありません。

調査地点	①			②			
	①-1	①-2	①-3	②-1	②-2	②-3	②-4
pH	7.2	8.0	8.1	6.9	7.4	7.8	8.0
六価クロム(mg/l)	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満
調査地点	③			⑤			
	③-1	③-2	③-3	⑤-1	⑤-2	⑤-3	⑤-4
pH	8.2	8.1	7.8	7.9	8.0	7.9	7.8
六価クロム(mg/l)	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満
調査地点	⑥			⑧			
	⑥-1	⑥-2	⑥-3	⑧-1	⑧-2	⑧-3	⑧-4
pH	7.9	7.9	8.1	6.3	6.6	7.2	7.2
六価クロム(mg/l)	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満

解説
 ●pH(水素イオン濃度)
 地盤改良等に使用するセメント系固着剤は強アルカリ性を示すため、地下水中にセメントが混入した場合、pHがアルカリ性に傾くおそれがあることから測定を行っております。pHについては地下水における環境基準は定められていません。なお、pH=7程度が中性であることを表しております。
 ●六価クロム
 地盤改良等に使用するセメント系固着剤は、条件によっては地下水に六価クロムとして溶出するおそれがあることから測定を行っております。六価クロムの地下水における環境基準は0.05mg/リットル以下とされています。また、「0.005未満」とは、六価クロムを定量できる最も小さい値を下回っていることをいいます。

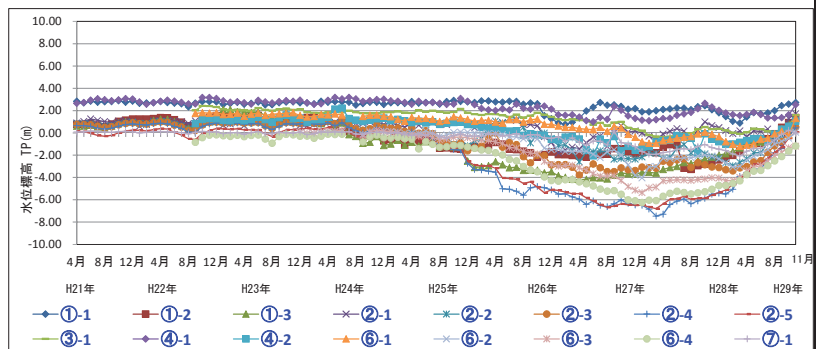
4. 地下水水位調査結果

地下水水位の調査結果を下の表に示します。
 ○地下水水位の回復傾向が確認されました。
 引き続き注視していきます。

単位: T.P.m

調査地点	①			②				③		④		
	①-1	①-2	①-3	②-1	②-2	②-3	②-4	②-5	③-1	④-1	④-2	
H29	9月	2.45	0.50	0.37	-1.20	-0.27	-0.78	-1.41	-1.29	0.33	1.36	0.33
	10月	2.59	0.91	0.82	1.32	0.39	0.11	-0.25	-0.48	0.70	1.61	0.60
	11月	2.72	1.38	1.31	1.72	0.83	0.51	0.44	0.07	1.57	2.52	1.05
調査地点	⑥			⑦								
	⑥-1	⑥-2	⑥-3	⑦-1	⑦-2	⑦-3	⑦-4					
H29	9月	0.15	-0.76	-1.76	-2.13	-0.12						
	10月	-0.16	-0.48	-1.32	-1.62	0.23						
	11月	1.30	0.05	-1.20	-1.18	-0.01						

解説
 ●T.P.m
 東京湾の海面の平均高さを0として、標高を表す時に用いる単位です。

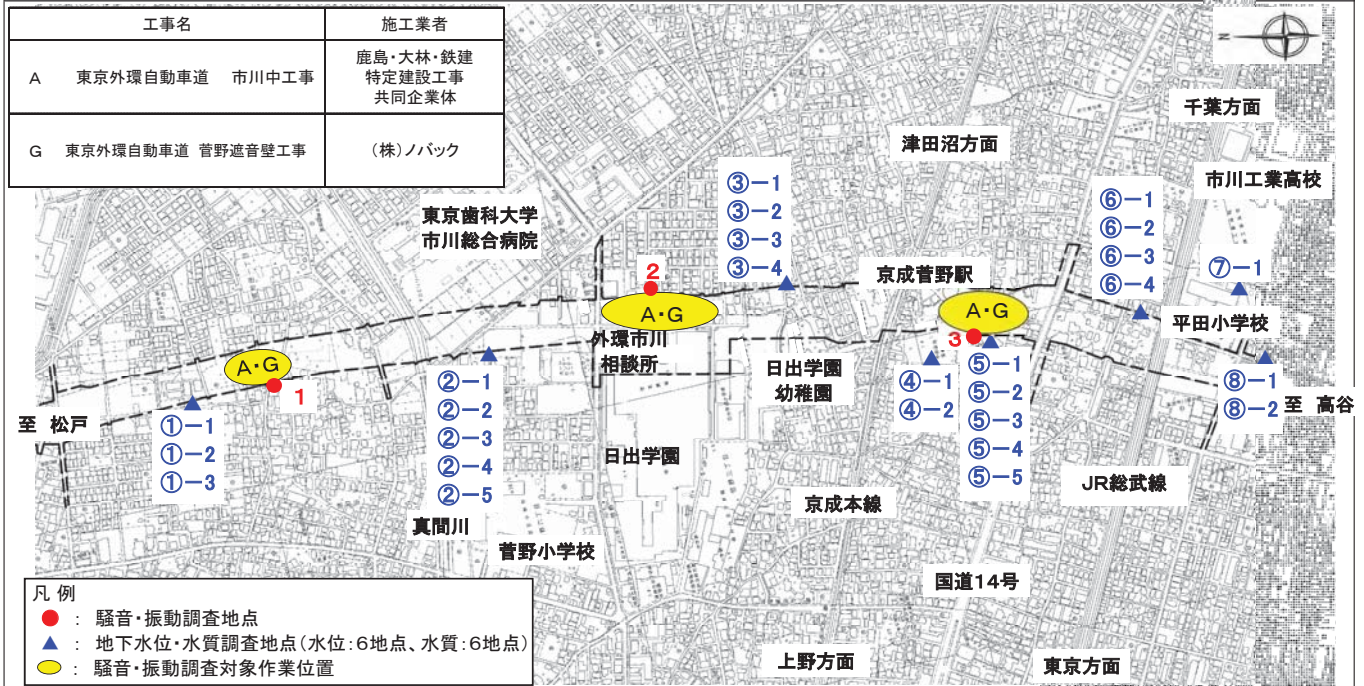


須和田・白幡・菅野・平田・新田地区の1月の調査結果のお知らせ

平素は、東日本高速道路路側の外環事業にご理解・ご協力いただき誠にありがとうございます。
 東日本高速道路路側千葉工事事務所では地域の生活環境の保全に努めつつ外環事業に取り組むために、騒音・振動等
 についての調査を毎月実施しております。
 そのうち、1月に実施しました調査結果についてお知らせ致します。

■連絡先：東日本高速道路路側
 千葉工事事務所 技術課
 TEL:043-350-3342

1. 調査項目および調査地点



2. 騒音・振動調査結果

騒音レベル L_{A5} および振動レベル L_{10} を下の表に示します。

○法律による規制基準を満足しています。

調査地点	付近の工事内容	騒音レベル L_{A5} (dB)	振動レベル L_{10} (dB)	調査日
1	市川中工事 菅野遮音壁工事	58	38	1月29日 昼間(8時~17時)
2		67	42	1月26日 昼間(8時~17時)
3		61	44	1月26日 昼間(8時~17時)
法律による規制基準		特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準	特定建設作業に伴って発生する振動の規制に関する基準	
		85	75	

解説

●騒音レベル L_{A5}

騒音の大きさを騒音レベルといい、dB(デシベル)という単位で表します。騒音レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から5%目の値を L_{A5} と表します。これは、「特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準」に示された規制基準と比較する値です。

●振動レベル L_{10}

騒音と同様に、振動レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から10%目の値を L_{10} と表します。これは、「振動規制法施行規則」に示された規制基準と比較する値です。

3. 地下水質調査結果(採水日:1月15日、16日、17日)

地下水質調査結果を下の表に示します。

毎月調査している項目として、pHおよび六価クロムがあります。

○pHおよび六価クロムに異常はありません。

調査地点	①				②			
	①-1	①-2	①-3	②-1	②-2	②-3	②-4	
pH	7.6	7.8	8.0	7.0	7.6	7.8	8.0	
六価クロム(mg/l)	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	
調査地点	③				⑤			
	③-1	③-2	③-3	④-1	④-2	⑤-1	⑤-2	
pH	8.2	8.1	7.9	7.9	8.0	7.8	7.8	
六価クロム(mg/l)	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	
調査地点	⑥				⑧			
	⑥-1	⑥-2	⑥-3	⑦-1	⑦-2	⑧-1	⑧-2	
pH	7.9	7.9	8.1	6.8	6.9	7.3	7.3	
六価クロム(mg/l)	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	

解説

●pH(水素イオン濃度)

地盤改良等に使用するセメント系固着剤は強アルカリ性を示すため、地下水中にセメントが混入した場合、pHがアルカリ性に傾くおそれがあることから測定を行っております。pHについては地下水における環境基準は定められていません。なお、pH=7程度が中性であることを表しております。

●六価クロム

地盤改良等に使用するセメント系固着剤は、条件によっては地下水に六価クロムとして溶出するおそれがあることから測定を行っております。六価クロムの地下水における環境基準は0.05mg/リットル以下とされています。また、「0.005未満」とは、六価クロムを定量できる最も小さい値を下回っていることをいいます。

4. 地下水位調査結果

地下水位の調査結果を下の表に示します。

○地下水位の回復傾向が確認されました。
 引き続き注視していきます。

単位: T.P.m

調査地点	調査日	①				②				③		④	
		①-1	①-2	①-3	②-1	②-2	②-3	②-4	②-5	③-1	④-1	④-2	
H29	11月	2.72	1.38	1.31	1.72	0.83	0.51	0.44	0.07	1.57	2.52	1.05	
	12月	2.41	1.32	1.26	1.20	0.62	0.17	0.40	0.08	1.55	2.06	0.92	
H30	1月	2.32	1.47	1.23	1.27	0.69	0.65	0.58	0.25	1.37	2.05	1.24	
調査地点	調査日	⑥				⑦							
		⑥-1	⑥-2	⑥-3	⑥-4	⑦-1	⑦-2						
H29	11月	1.30	0.05	-1.20	-1.18	-0.01	-0.01						
	12月	1.04	0.10	-0.72	-1.01	-0.14	-0.14						
H30	1月	1.02	0.51	-0.14	-0.33	-0.12	-0.12						

解説

●T.P.m

東京湾の海面の平均高さを0として、標高を表す時に用いる単位です。

